

## ● 目次

- 2 ひと人ヒト (川部謙三さん)
- 3 特集 市の予算と仕事  
～平成22年度当初予算&  
平成21年度3月補正予算～
- 8 悪質商法にご用心!
- 10 七尾市役所の行政機構
- 12 情報ランド (お知らせ)
- 16 年に一度の健康チェック  
～特定健診～
- 17 みんなの本棚/児童館へ行こう
- 18 等伯関連イベント情報
- 19 イベント情報 (市内施設)
- 20 広がれ!市民のわ/  
市長コラム/市長談話室
- 22 市民相談
- 23 休日医療情報/不用品活用銀行/  
国際交流
- 24 まちの顔
- 26 能登和倉万葉の里マラソン 2010
- 28 片岡鶴太郎ガラス作品展/  
わが家のアイドル

## ● 今月の表紙

3月7日に行われた第2回能登和倉万葉の里マラソン。今回は市内外から5,655人(昨年は5,037人)ものランナーが参加。当日はみぞれまじりのあいにくの天候ではあったものの、沿道からは大きな声援が送られ、笑顔で応えるランナーの姿がこちらで見られた。

厳しい条件のなか、困難を乗り越えゴールした選手たちは、苦しみながらも満足げな表情を浮かべていた。長い道のりを走りきり、両手を挙げてゴールする姿に、観客からは大きな拍手と声援が送られていた。

私たち一人ひとりが「おもてなしの心」を持ち、この大会を、記録ではなく記憶に残る日本一の人情味あふれる大会にしましょう。

(26・27ページに関連記事)

ひと

ヒト



川部謙三さん(73歳) 藤野町

# 「生涯現役」宣言。

石川県生涯学習インストラクターの会 会長

「人との出会いはワクワクする。新しい仲間が増えるし、地域のためにも貢献できる。こんな楽しいことはない。体が動かなくなるまで一生続けたい」と思いを語る。

生涯学習インストラクター制度は、社会通信教育協会の生涯学習指導者養成講座の生涯学習ボランティアコースを学んだ人に、地域や学校で生涯学習の指導者・ボランティアとして働いてもらおうと設けられたもの。生涯学習の地域リーダーとして、時には企画運営を、時には講師の手伝いを、時には自らが講師となつて壇上にも上がる。

『生涯学習』との出会いは退職後のこと。教師を42年間勤めた後、市の生涯学習課で社会教育指導員を任された。「初めは何をするのか全くわからなかったが、いろんなことをやってみるうちに、たくさんの人と

出会い、いろんなところへも出かけるようになった。やればやるほどみんな喜んでくれる。」とその楽しさにすっかりとりつかれてしまった。

川部さんは、平成11年に文部科学省から「学びの達人」「遊びの達人」の認定を受け、平成14年に石川県生涯学習インストラクターの会を設立。初代会長として現在に至る。会員には認定を受けた人だけでなく、会の目的に賛同した人も多い。会員数は県全体で約100人。うち七尾在住者が半数近くを占める。年齢も20代から最高齢は90歳と幅広い。

「決して特別な能力や資格がある人だけでやっているわけではない。自らが持つ特技や知識を地域に還元したいという心を持ち、それを継続できる人が集まっている。『地域力』を結集して、もっと輪を広げていきたい」と意欲を燃やす。

## 特集

平成22年度

# 市の予算と仕事

一般会計 **288億7000万円** (前年度比0.7%増)

前年度比 **2億円増** **2年連続前年度超** (一般会計)

まちの活性化のために、予算はこうして使われる——。

菜の花の花言葉は「快活」「活発」。

平成22年度当初予算では、財政の健全化を図りつつも、雇用対策や交流人口拡大のために、まちを活性化させる事業に積極的に取り組みます。

中でも普通建設事業費は前年度比5.3%増、雇用対策事業も同3.6倍と大幅に拡充し、「人が輝く交流体感都市」をめざすべく、「元気の出る予算」としました。

すべての市民が知恵を出し合い、力を合わせて、市内全域に元気いっぱいな花を咲かせましょう。

今年度はどのような事業にどれだけのお金が使われるのでしょうか。今月号では平成22年度の予算についてご説明します。